

デジタル印刷を活かしたハイブリッド印刷のご提案

デジタル印刷とグラビア印刷の有効活用

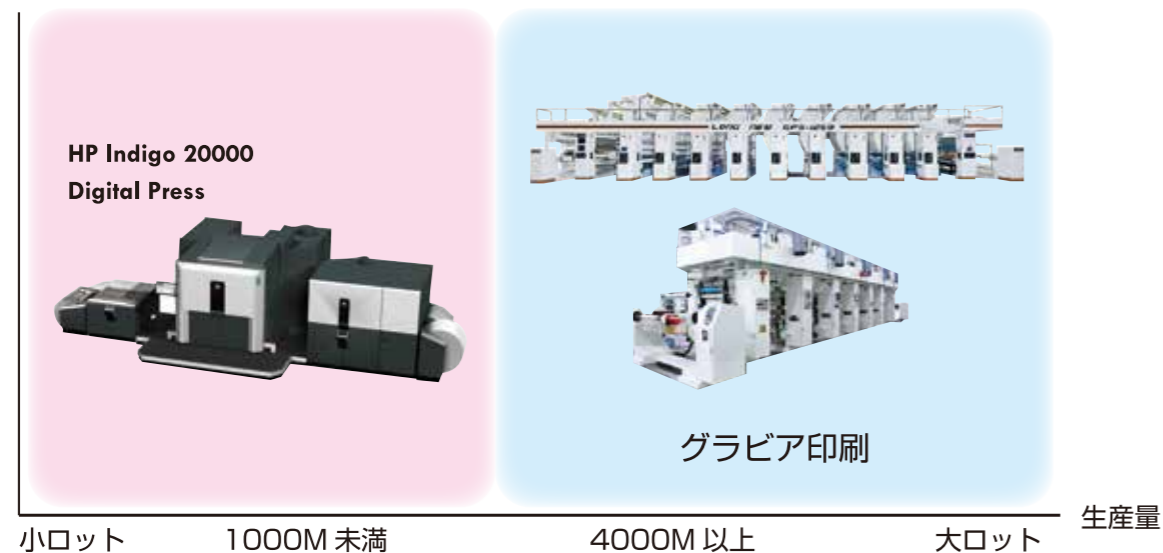
弊社では 2013 年 11 月、日本で初となる HP Indigo 20000 Digital Press を導入することで、デジタル印刷の強みを更に強化し多種多様な顧客ニーズへと臨機応変に対応できる体制を整えました。

ロットによるハイブリッドの印刷

2,000mまでは HP indigo WS 6600、HP Indigo 20000 Digital Press で生産、2,000m～4,000mまでは精工独自開発の小ロットグラビア印刷、4,000m以上の中・大口～超大口までは従来のハイスピードグラビア印刷であらゆる需要にお応えいたします。

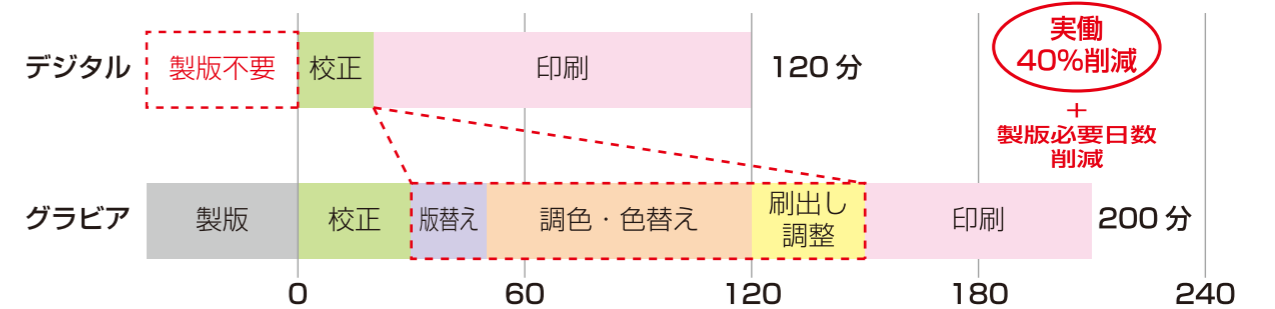
デジタル&グラビアによるハイブリッドの印刷

可変の必要がないデザイン部分はグラビア印刷で、可変部分をデジタル印刷で製造することによりコストダウンとなります。



デジタル印刷の生産優位性

◎デジタル印刷とグラビア印刷の実働時間比較例

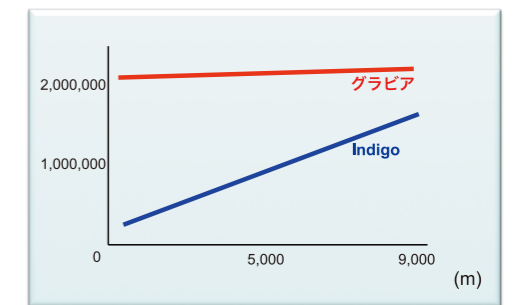
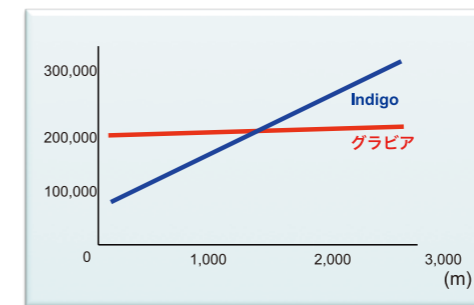


※印刷立会いも短時間で行えます。

◎印刷コスト比較例

デザイン数：1 点
色数：5 色 (白・Y・M・C・K)
版代：25,000 円 / 1 色
25,000 × 5 本 × 1 点 = **125,000 円**
形状：幅 300 mm、製品ピッチ 150 mm (ロール品)

デザイン数：10 点
色数：5 色 (白・Y・M・C・K)
版代：25,000 円 / 1 色
25,000 × 5 本 × 10 = **1,250,000 円**
形状：幅 300 mm、製品ピッチ 150 mm (ロール品)



ハイブリッド印刷の活用

今まで、グラビア印刷では版代がかかるため 1 種類のデザインで製造してきましたが、デジタル印刷の仕上りの美しさや製造可能領域が広がったことで、デジタル印刷とグラビア印刷を組み合わせた生産体制を取ることができるようになります。

リリース初期はデジタル印刷による多品種小ロットでの製造、量産供給期間には主力製品をグラビア印刷で製造、終息期間は再度デジタル印刷に切り替え在庫調整をしながら製造するという、デジタル印刷とグラビア印刷を上手く切り替えて製造する「ハイブリッド印刷」が可能になります。

